

ニセコ中学校1年A組

有島武郎 感想

有島武郎は農場解放で今まで地主が、年貢のように採れた野菜などを（100個、野菜が採れたとして70を収めなければいけなかった）収めなければいけなかったものが、このニセコの街を良くするため、農業をするための道具などを、貸すのではなくあげて、共有して使わせた。この優しさと、ニセコを良くしたいと思った気持ちがこの説明文で、よくわかった。有島武郎が地主で、自分だけが良くしてはいけないと思ったところが、優しいいいなあーと思った。

だから有島武郎は、互いに助け合い、協力し、ニセコをよくしようと思って、自ら結果を出す気持ちを受け入れて、今のニセコがあるのだな〜と改めて感じた。

解放した感想

僕は有島武郎は人の苦勞にきづいてみんなで共有しようとしていていいと思いました。最初は70%も町民に年貢を収めさせてちょっと厳しい人なのかなと思ったけどその後しっかりと農民に土地を上げたりしていて協力させることをしてていいと思った。

<有島武郎感想>

有島武郎さんが、農場解放をしたことがすごいと思った。

有島武郎 感想

僕は、なんでそのままにしなかったのかがわからない。確かに可哀想やみんなが豊かな暮らしを送っていったら、いろんなメリットが有るのはわかるけど、そのままにしてたら自分にとっては、儲けられるから、別にそのままにしても良かったんじゃないの？っと思ったりもしますが、有島武郎がやったことはとっても偉大で素晴らしいことだと僕は思う。

僕は貧しい生活をしている人たちを農場解放して助けた有島武郎をほこりに思っています。なぜならもしかしたら今も農場解放をしていなかったら貧しい生活をしている人たちが何人もいたと思うから。それにもし僕が有島武郎みたいな存在だったら僕も貧しい人々を救いたいです。あと農場解放で不平等な生活を送る人がいなくなるようにみんなで平等に使うのを目的でしたっていうのもまた一つの優しさでいいなと思いました。

有島武郎のおかげで現在の住民は貧しくないんだと分かった。有島武郎は渡したのではなく共有することを目的としていた。昔の経営者は相手に土地を貸して、自分は働かずにお金が入ってくるのを待っていただけだった。一方土地を貸してもらっている人達は例えば100のうち95を経営者に納めなくてはいけなかったから大変だなあと思った。それで有島武郎が言ったのはすごいと思った。

私は、有島武郎さんの「農業解放記念碑文」を読んで、持っている土地を貸し借りし続けていけば、自分は何もしなくても利益を得られるのに、その土地をみんなにあげられるところがすごいと思った。そして、人数分に分け与えるのではなく、土地全体を全員で共有し、協力して全員の役に立つように使いなさい、と考えられることがすごいと思った。

今までは、有島記念館には行ったことがあったけどいまいち何をしたのかを知らなかったからこの碑文を読んで有島武郎の凄さが伝わった。特に有島武郎が農場解放をする前は、大変な生活をしていた人と農場の人と比べるとそこまで働かないでお金をもらえているところをみんなが少しでも豊かになるように批判があるかもしれないのに言えたのは、勇気や大変さが伝わった。

私はこの文章を読んで、合同して土地全体を共有するという考えがすごいと思いました。理由はみんな平等に仕事もあたえられるしお金も入ると思ったからです。そして今回の文章を読んで有島武郎が何をした人なのかを知ることができました。

感想

有島武郎はみんなのことを考えることができ、心優しい人できっと農民の苦労や大変さがわかっていた人だったのかなと思いました。そのおかげで今のニセコができているのだと思いました。

今の世界では戦争などが起こっているので自分の国のことを第一に思っている国が多いと思いますが有島武郎のように他の人のことも考えられるようになると良いなと思いました。

僕は有島武郎は最初小説家だけだと思っていたけど有島武郎は今から 100 年前に農場解放をしてまだ貧しかったニセコの人たちを豊かにしたことがすごいと思った。それに有島武郎がニセコの地主だったということもしれた

有島武郎さんは、土地を頭数にお譲りするのではなく、それぞれが合同して土地を共有するようお願いしたのは、驚きました。大体の人は頭数に渡すと思いますが有島武郎さんはなんのために作物を作るのかがよくわかっていると思います。なのでそういうところにとっても感激しました。

有島武郎は不平等な農業解放を改善してくれ、人々のことを考えているということが分かった。

土地を貸しこの土地に責任を感じ、お互いに助け合って生産を計ることを願っているという考えがいいなと思った。土地を貸すことですべての人を平等にするだけでなく、人々が協力できるような町を造ってくれていて周囲の状況も変化させてくれるいい人だなと思った。

私はこの「農場解放記念碑文」を読んで、農場を解放をしたことは凄いが特に「諸君全体が共有しこの土地に責任を感じる」というところがすごいと思った。なぜなら、もし自分が農場解放をしたら貧しいのをなくし、土地をよりよく使ってもらう、または農業の大変さ、植物の大切さを感じてもらおうという目的で考え、宣言すると思ったからだ。この土地で農業をし、その儲けで生活をする、という流れがあるのだから【この土地があるから生活ができています】んだよということを伝えようとしているのだと思った。そして感謝しろ（土地に）という願いを込めて宣言したのだと思った。

有島武郎の農場解放記念碑文を読んで有島武郎が農場解放をしてくれなかったらと考えると今のニセコの方は、貧しかったと思うから、有島武郎が農場解放をしてくれて良かったと思った。

農場解放という言葉は初めて知ったけど、すごくいいことをした人だったということがよくわかった。

『感想』

私は、有島武郎は知っていたけど、何をしたら詳しくは知らなかったからこの文を読んで、初めて知った。

有島武郎が農場解放をしなれば、昔ニセコに住んでいた人たちは暮らしも貧しいままでたん編だったと思うから、農場解放をやって良かったと思う。農場解放のやる意味や決まりを文にすることで、農場解放をしたらといってズルをする人が出てくると思うから、このような碑文を書くことがすごくいいなと思った。農場解放をすることで、環境が変わったなやって良かったと思う。

「感想」

自ら農場解放について相手に理解してもらえる「説得力」のある発言で貧乏だったニセコを変えていてすごいと思った

<感想>

有島武郎は国民のために土地の主がお金をもうけられるようにする制度をなくして農業解放と言う制度決めた。

私は、この農場解放記念碑文を読んで有島武郎が小説を書く以外に農場解放をしていることを知って、今の農業があるのも有島武郎のおかげだと思いました。そして有島武郎がいなかったら誰がやっていたのか、誰もやっておらず、そのままにしていたらどうなっていたかと思うとちょっとゾクッとしました。だから有島武郎が農場解放を実行していてよかったと思いました。

私は、有島武郎を知っていたけど農場解放については知りませんでした。解放宣言文を読んでみて難しくてよくわかんなかったけど今まで知らなかった農場解放について知ることができたのでいい機会になったと思います。農場解放記念碑文も読んでみてやっぱりよくわかんなかったけど有島武郎さんの思いを知ることができたので良かったです。

ニセコ中学校1年B組

<感想>

僕は、農場解放をした有島武郎はすごい優しいなと思いました。なぜなら、小作人は小作料ですごくお金を取られ生活がぎりぎりできるくらい大変だったけど有島武郎はその土地もあげてなおかつ、小作料もなくしたからです。そしてただその取れた物を自分が使うんじゃなくて、みんなで生産したものや土地全体を共有しようという考えがすごくいいなと思いました。

私は、「有島武郎の農場解放記念碑文」を読み、優しい人なんだと思いました。なぜなら、個人の利益のためではなく、一人ひとりが互いに助け合って、利益を得てほしいというところや、一人ひとりの働きが、周囲の状況をも変化させるような結果を望んでいたりしているところ、またそれ以前に農場を解放しなければ、ずっと楽をしていることができたのに、農場を解放して小作人たちの生活を楽にしてあげていることが優しいと思うからです。

〈感想〉

僕は一回だけ有島記念館に行ったことがあるけどあまり興味がわかなくて何も知らなかったけどこの授業で有島武郎さんはニセコをいい街にしてくれたことが分かったので感謝します。そして他にも農場解放などの人々の住みやすい街にしてくれた事もわかったのでこれからは有島さんのことは忘れないようにしていきたいし今日の授業で興味を持てたので良かったです。

この有島武郎さんの、農業解放があったから今のニセコの農業が、続いているんだと思いました。今のニセコの農業は、土地を買ったり、借りたりして農業を行っている。

この考えに有島武郎さんの農業解放は似ていると思うでもその畑の持ち主が自分たちでその自分たちが畑の管理、持ち主であるということの違いがあり。そこからなんの違いが生まれるのかは、わかんなかったけれど。有島武郎さんは、今までにない、農業解放をして畑の管理などをまかせお金も払わなくても良いと、言った。

このことから僕は、「有島武郎さんは、すごく心が広い方だ」ということがわかった。自分もこんな人になりたいと思った

僕は農場解法をしたと知って有島武郎は「優しい人」だと思いました。理由は2つあります。

1つ目は自分のために行動するのではなく、みんなのために行動したからです。もともと有島武郎は何もやらなくても畑を貸していたので小作人の約7割の収入がもらえたはずなのに畑をあげたので優しいなあと思いました。

2つ目は前まで生活をするのが厳しかった人達を助けたからです。

これらの理由で僕は有島武郎は「優しい人」だと思いました。

《感想》

私はこの「解放宣言文」を読んで、有島さんはとてもはっきりした意見を持っている人だなと思いました。

なぜなら、自分の持っている土地を譲ってまで、「土地全体を共有し、互いに助け合って作物を生産してほしい」という願いを実現させたからです。

「空気や水をみんなで共有して使うように、土地も誰かのものでなく共有するべき」という考え方は、私は賢いなと感じます。誰の土地と決めて使っているから、小作人の人たちは苦しいままなのです。みんなの共有のものなら、利益が偏ることもないし、働いた分だけお金が入るという平等な仕組みになります。

有島さんは、地主という楽な立場にしながら、自らそれを手放し、ニセコの発展のために動きました。その気持ちが素晴らしいと思いました。

有島農場解放宣言文の感想文

私は有島農場解放宣言文を読み、ニセコの人々が助け合って暮らしていくことが大切だと思った。有島武郎は「協力一致」・「相互扶助」を小作人の人たちの思いを刻むような感動的な言葉を与えた。そして今年で農場解放100年目だ。さて、私たちは今「協力一致」・「相互扶助」はできているのだろうか？このことは何年経っても続けていくことが大事だ。感動的な言葉をもらったら、実現をすればいいと有島農場解放宣言文を読んで感じた。

有島武郎がある決まりをつけて農場解放をしたのかがわかった。

農業解放から100年が経った今でも決まりが受け継がれているのかと疑問に思った。

有島武郎さんは小作人に手助けしているようで、自分たちで考えさせて発展させていくように誘導していて短い文でも有島さんの考えに感心した。小作人たちに、農場解放するよとお知らせしているけどもそれと同時にみんなを鼓舞しているようにも感じられた。有島さんがこれを故意にやっていたのなら本当に優れた人だったんだと思う。相互扶助などの難しい言葉の意味を調べることで、更に理解を深めることができ興味が湧いた。

有島武郎は、知っていたけどもどんな事をした人かは、そんなに知らず農業解放というのでも知らず初めて知り改めてすごい人なんだと思った。

農場解放記念碑文

有島武郎さんがやったみんなで相互扶助してやるというのは今の世界で戦争が起こっていて世界で協力してやるというのが世界はできていないから今の世界で、やるべきことだと思う。

有島武郎

感想

- ・有島武郎さんの名言の「相互扶助」は『相互』お互い。『扶助』力を添えて助ける。ことが分かり、農場を「相互扶助」する気持ちが分かった。
- ・元々、小説家だった有島武郎さんが協力一致して農場を運営を無性で「農場解放」したことがすごいと思ったし、基礎も考え、それが「相互扶助」の四字熟語で表現したことが良いなと思いました。

有島武郎の農場解放記念碑文を読んで、有島武郎が農場解放と相互扶助を行った事により、ニセコ町が活気ある街になってこれたのだと思った。他にも有島武郎は、農業解放記念碑文の中で小作人たちに、共有の仕方を考えさせたのも、これからのこと

を考えて自分が居なくても、町の人達だけでなんとかできるようにするために考えさせたんだと思った。

有島武郎は小作人に畑をあげたり、これからどうするのかも適切に決めていてすごいなと思いました。

- ・分割ではなく共有して使うようにしたのが賢いと思う。
- ・相互扶助という考えを広めたい。
- ・「有島武郎」がどんな人かあまり知らなかったけどこれを見て「有島武郎」は優しく賢い人だと分かった。

有島武郎の名前は前から知っていたけど何をしたかは詳しくはわからなかったけど素晴らしい事をしたということがわかった。農場解放は貧しい人でもお金がかからずに作った農作物もいっぱい手に入りそして正しい生活ができいいと思った。

記念碑文を読んで

「相互扶助とは社会などの構成員が互いに助け合うことである。」
有島武郎のことを知ってからこの意味を調べた。
小作人の前で農場解放を宣言したことがすごかった。
分割制ではなく協力して一つのことをする考えがいいと思った。
弥照神社で大正十一年八月十七日解放宣言をした。
